

お賽錢・十円ぼつち(だけ)で・でかい夢(願い事)

◎一般に『商売繁盛・合格祈願』など、人間の欲(望)の願いを叶えて貰うと『ご利益を頂いた』と言います。淨土真宗でも、願いが叶えられることが

ご利益ですが、仏法で言う願いとは『いのちの本当の願い』です。

①命の願いとは、『私の思い通りにしたい』と我を通したり・我欲を満たす

ことではなく、他人のために努力する『利他』です。世のため・人のために

役立ち、人々を幸せにてきて・私は『無くてはならない人間だ』と『利他』を

実感できる時に、『ご利益を頂いた・幸せだなあ』と、喜びを感じるのです。

②『我が身よければ全て良し』が人間の本能で、自己中心の殻(自分の世界)

に閉じ籠もり・引き籠もると、親・先生・友達・職場や世間の人々に助けられ、

自然の恵みの御陰で、私は『生かされて生きている』のだと気づきません。

③自分の殻に閉じ籠もり、人を差別・無視し、自慢したり、気が合う人とだけ付き合つたりして平気で生きて行つたりします。これが正信偈に説く

『邪見憍慢惡衆生』です。人間は自分の思い通りにしたい、気楽に暮らしたい

と、自分だけの世界(個室)に閉じ籠もつたり、引き籠もつたりします。

④仏法は『仏様との出遇い』です。仏法に遇わない(聞法しない)のは、鏡に

映る『眞実の私の姿が見えない』ようなもので、自己中心の私に気づきませ

ん。また、自分に都合が良い時は『惡も善』に見え・都合が悪い時は『善も惡』

に見えるように、身勝手すぎると眞実が見えず・眞実に出会えません。

⑤親鸞聖人が説かれる念佛は、家内安全・無病息災・商売繁盛・交通安全・合

格祈願など、『頼みます・お願ひします』の守護神的な阿弥陀仏ではなく、厄

除けなどの『逃避念佛』でもありません。他力(回心=内観の)念佛なのです。

⑥自我の狭い世界から出て、広い世界に往き・生れ変わることが『往生』で、

これが仏法で説く『ご利益』です。『煩惱具足(十分に揃っている)の凡夫』の

私の姿に目覚め、無数の人々に支えられ・助けられての私の人生だから、人の御役に立てるよう、頂いた命を生き切ることが『本当の幸せ』なのです。